

国語科【第2学年】年間指導・評価計画

府中市立府中第五中学校

1 各学年・各分野の学習目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2 指導内容および評価規準

- (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項、情報の扱い方に関する事項、我が国の言語文化に関する事項

ア 日常の言語活動を振り返り、言語の法則に気付く活動。

イ 学年別配当漢字表の漢字の読み書きをする活動。

ウ 字形を整え、文字の大きさ、配列に気を付けて書く活動。

エ 事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して

話しや文章の中で使う活動。

月	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
5	- 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 - 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。		- 学習課題に沿って、積極的に情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使おうとしている。 - 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
6	- 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 - 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 - 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。 - 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。		- 学習課題に沿って、積極的に具体と抽象の関係について理解しようとしている。 - 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 - 今までの学習を生かして積極的に自立語について理解を深めようとしている。 - 粘り強く観点を明確にして文章を比較し学習課題に沿って目的や状況に応じたメディアの選び方を理解しようとしている。
7	- 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 - 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。		- 今までの学習を生かして、積極的に類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解しようとしている。 - 今までの学習を生かして、積極的に抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨こうとしている。 - 伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。

9	敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。		今までの学習を生かして、積極的に敬語の働きについて理解しようとしている。
10	- 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 - 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。		- 学習課題に沿って、積極的に同音異義語を理解し、漢字を読んだり書いたりしようとしている。 - 今までの学習を生かして、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
12	- 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 - 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。		- 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 - 今までの学習を生かして積極的に単語の活用について理解しようとしている。
1	- 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 - 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文の中で使っている。 - 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。		- 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 - 今までの学習を生かして、積極的に助詞や助動詞の働きについて理解しようとしている。
2	- 話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。 - 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。		- 今までの学習を生かして、積極的に話し言葉と書き言葉の特徴について理解しようとしている。 - 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり、書いたりしようとしている。
3	- 言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。 - 敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。 - 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。		進んで登場人物の設定のしかたや根拠の適切さを考え、今までの学習を生かして、学習課題に取り組もうとしている。

(2) 「話すこと・聞くこと」

ア 説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりする活動。

イ それぞれの立場から考えを伝えるなどして、議論や討論をする活動。

月	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。	進んで論理の展開などに注意して聞き、今までの学習を生かして疑問点や確認したい点を考えようとしている。
6	言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。	「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。 「話すこと・聞くこと」において、資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。	粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫し学習の見通しをもってプレゼンテーションをしようとしている。
9	言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。	「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。	粘り強く論理の展開に注意して聞き、今までの学習を生かして思いや考えを引き出す質問をしようとしている。
10	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。 「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。	- 進んで意見と根拠の関係について理解し、今までの学習を生かして異なる立場の人の意見を想定しようとしている。 - 進んで互いの立場や考えを尊重し学習の見通しをもって討論しようとしている。
11			進んで作品の特徴を生かして朗読し学習課題に沿って好きな漢詩を選び、その理由を述べようとしている。
2	- 話や文章の構成や展開について理解を深めている。 - 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。	
3		「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。 「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。	

(3) 「書くこと」

ア 多様な考えができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く活動。

イ 社会生活に必要な手紙や電子メールを書くなど、伝えたいことを相手や媒体を考慮して書く活動。

ウ 短歌や俳句、物語を創作するなど、感じたことや想像したことを書く活動。

月	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
5	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	- 進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。 - 粘り強く多様な方法で集めた材料を整理し学習の見通しをもって職業ガイドを作ろうとしている。
6		「書くこと」において、目的や意図に応じて、多様な方法で集めた材料を整理している。	
7		「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫している。	進んで短歌の構成や表現の効果について考え学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。
9	- 言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。 - 敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。 - 敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。	「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。	- 積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し学習課題に沿って通信手段を選び、通信文を書こうとしている。 - 粘り強く文章を整え、今までの学習を生かして手紙を推敲しようとしている。
10	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	粘り強く根拠の適切さを考え学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。
11		「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。	積極的に考えたことを知識や経験と結び付け学習の見通しをもって登場人物について論じる文章を書こうとしている。
12	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。	進んで表現の効果を考えて描写し、今までの学習を生かして鑑賞文を書こうとしている。

1		「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	粘り強く登場人物の言動の意味などについて考え、学習の見通しをもって作品の魅力を文章にまとめようとしている。
2	話や文章の構成や展開について理解を深めている。	「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。 「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて文章を整えている。	- 粘り強く文章の構成や展開を工夫し、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。 - 粘り強く文章の構成や展開を工夫し今までの学習を生かして壁新聞を作ろうとしている。
3		「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。	

(4) 「読むこと」

ア 報告や解説などの文章を読み、理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめたりする活動。

イ 詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。

ウ 本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用し、出典を明らかにしながら、考えたことなどを説明したり提案したりする活動。

月	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。	- 進んで語感を磨き今までの学習を生かして朗読しようとしている。 - 積極的に登場人物の設定のしかたなどを捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。 - 伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
5	- 現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。 - 話や文章の構成や展開について理解を深めている。	「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。 「読むこと」において、文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈している。	積極的に文章と図表などを結び付け学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。

6		・「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。	
7	・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。	・「読むこと」において、観点を明確にして短歌を比較するなどし、短歌の構成や表現の効果について考えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。	・進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。 ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り今までの学習を生かして本の魅力や感想を共有しようとしている。 ・進んで表現の効果について考え学習課題に沿って二つの翻訳を比べて感じたことを発表しようとしている。
9	・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。	・「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて内容を解釈している。 ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。	・粘り強く登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って作品の印象を伝え合おうとしている。 ・進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
10	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開について考えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。	・粘り強く論理の展開について考え学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。
11	・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。	・「読むこと」において、詩の構成や表現の効果について考えている。 ・「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「読むこと」において、観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えている。	・進んで表現の効果について考え今までの学習を生かして詩を朗読しようとしている。 ・伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。 ・進んで古典に表れたものの見方や考え方を知り学習課題に沿って朗読しようとしている。 ・進んで登場人物の言動の意味について考え学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。 ・進んで作品の特徴を生かして朗読し学習課題に沿って好きな漢詩を選び、その理由を述べようとしている。

12	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。	・粘り強く観点を明確にして文章を比較し今までの学習を生かして考えたことを文章にまとめようとしている。 ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り今までの学習を生かして感想を伝え合おうとしている。 ・伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
1		・「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。	
3	・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。 ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。	・進んで詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って作者のものの見方について話し合おうとしている。

(5)「書写」

月	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	点画の省略を理解し、字形を整えて書くことを把握し、書いている。	行書の筆使いの中から自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	点画の省略の書き方から自己の課題を把握し、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。
5	筆順の変化を理解し、字形を整えて書くことを把握し、書いている。	筆順の変化の書き方を確かめ、自己の課題を考えている。	筆順の変化の書き方から、自己の課題を把握し、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。
6	- 行書の特徴を知り、点画の変化、連続、省略、筆順の変化を理解し、字形を整えて書くことを把握し、書いている。 - これまでに学習した行書の特徴について理解している。これまでに学習した行書の特徴について、自己の課題を理解して書いている。	- これまでに学習した行書の特徴から、自己の課題を考えている。 - 行書学習のまとめとして自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	- これまでに学習した行書の書き方に習熟し、配列よく書こうとしている。 - 行書学習のまとめとして、行書の特徴の中から自己の課題を把握し、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。
7	行書と仮名の調和や配列の整え方を理解している。行書と仮名の調和を理解し、行書の筆使いを生かして書いている。	紙面全体の調和を考えて、点画の連続と配列を意識している。	行書と仮名の調和における課題解決に向けて、意欲的に取り組んでいる。
8	行書に調和する仮名の筆使いを理解し、字形を整えて書くことを把握し、書いている。	行書に調和する仮名の筆使い、字形の特徴について、適切に判断している。	行書に調和する仮名の書き方を習得しようとしている。
9	紙面全体の調和を考えて、文字の大きさや配列に注意し、調和よく書くことを理解し、書いている。	紙面全体の調和を考えて、文字の大きさや配列を意識している。	紙面全体の調和を考えて、行書と仮名の調和の書き方における自己の課題を設定し、その解決に向けて取り組んでいる。
10	目的や必要に応じて楷書や行書を選ぶことや、配列の整え方について、よく理解している。	目的や必要に応じた形式や用具について考えている。	目的や必要に応じた書き方について、自己の課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。
11	日本の伝統的な建築とそこに使われていた「書」についてよく理解している。	日本の伝統的な建築とそこに使われていた「書」について適切に捉えている。	日本の伝統的な建築とそこに使われていた「書」について関心をもっている。
12	さまざまな形式に合わせた漢字と仮名の調和や配列について理解して、字形を整えて読みやすく書いている。	さまざまな形式に合わせた漢字と仮名の調和や配列について考えている。	目的に応じたさまざまな書式を考え、読みやすく書こうとしている。
1	さまざまな楷書の古典についてよく理解している。	さまざまな楷書の古典について適切に捉えている。	さまざまな楷書の古典について関心をもっている。